

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	高知語学&ビジネス専門学校
設置者名	学校法人 日米学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名 コース名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験のある 教員等によ る授業科目の 単位数又は授 業時数	省令で定める 基準単位数又 は授業時数	配 置 困 難
文化教養 専門課程	国際学科 大学編入コース	夜・ 通信	18単位	6単位	
	国際学科 ビジネスコース	夜・ 通信	36単位	6単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校に電話またはメールで申し出のうえ、事務室保管の「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表を閲覧
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名      なし
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	高知語学&ビジネス専門学校
設置者名	学校法人 日米学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校に電話またはメールで申し出のうえ、事務室保管の「理事（役員）名簿」を閲覧
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元 農協役員	2018年4月1日～ 2023年3月31日	学校事業全般の確認 および助言、就職 斡旋
非常勤	自営業	2018年4月1日～ 2023年3月31日	学校事業全般の確認 および助言、就職 斡旋
非常勤	須崎市長	2018年4月1日～ 2023年3月31日	特に須崎市におけ る広報活動協力
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	高知語学&ビジネス専門学校
設置者名	学校法人 日米学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>・各コースにおいて、半期ごとに授業の方法・内容・教材と学生の学習の成果を討議し、次年度のシラバスに反映させ、成績評価の方法・基準等と併せて3月末までに作成し公表。新入生には成績評価の方法はオリエンテーションにて周知する。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>学校に電話またはメールで申し出のうえ、事務室保管の「授業計画書」を閲覧</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>・筆記試験の成績をもとに、授業への取り組みや課題提出も評価し、評定を行う。また、受験必須の検定試験は取得級により、授業への取り組みと課題提出も考慮した評定を行う。学習成果はシラバスに則り、厳正にかつ適正に評価し、履修認定を行う。</p> <p>・評定(単位認定)にあたっては、規定以上の出席(授業時数の2/3以上)をしていることも条件となる。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

- ・成績評定は A・B・C・D・E の5段階で行うが、評価は 100 点法で行い各科目の平均点を算出し、各学生の学習成果の把握と履修状況の指標とする。
- ・評定について
  - A：85 点以上
  - B：70～84 点
  - C：60～69 点
  - D：59～50 点
  - E：50 点未満

客観的な指標の算出方法						
上記、100 点法で行った全科目の合計点の平均を算出する。						
学科名	国際学科	学年	1	学生数	2	
		学年	2	学生数	9	
成績の分布						
指標の 数値	-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100
人数						
下位 1/4 に該当する人数		人				
下位 1/4 に該当する指標の数値		点以下				

客観的な指標の算出方法の公表方法	学校に電話またはメールで申し出のうえ、事務室保管の「シラバスおよび成績表」を閲覧
------------------	--

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

- ・ビジネスコース  
本学の教育方針の柱は『国際人としての知識とマナーを修得する』である。社会人として基礎となる知識とマナーを身に付け、英語力・コミュニケーション力を活かし就職へとつなげていく。
- ・大学編入コース  
大学編入コースでもコミュニケーション能力の高い「国際人」を目指した教育を行い、希望する大学への編入を目指す。
- ・両コース  
卒業認定にあたっては、卒業に必要な単位数の取得と学費等に未納がないことが条件となる。

卒業の認定に関する方針の公表方法	学校に電話またはメールで申し出のうえ、事務室保管の「学則」を閲覧
------------------	----------------------------------

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	高知語学&ビジネス専門学校
設置者名	学校法人 日米学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校に電話またはメールで申し出のうえ、事務室保管の「貸借対照表」を閲覧
収支計算書又は損益計算書	学校に電話またはメールで申し出のうえ、事務室保管の「収支計算書」を閲覧
財産目録	学校に電話またはメールで申し出のうえ、事務室保管の「財産目録」を閲覧
事業報告書	学校に電話またはメールで申し出のうえ、事務室保管の「事業報告書」を閲覧
監事による監査報告（書）	学校に電話またはメールで申し出のうえ、事務室保管の「監事による監査報告書」を閲覧

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養分野		文化教養課程	国際学科	◎			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	73単位 (大学編入コース)	37 単位	18 単位	18 単位	単位	単位
		73単位					
		70単位 (ビジネスコース)	30 単位	10 単位	30 単位	単位	単位
		70単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		11人	0人	7人	2人	9人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスコース 社会人に必要な一般常識、パソコン技能やマナーを学ぶ。また、ホテルや空港などの場面に即したビジネス英語・会話を学ぶ。</li> <li>・大学編入コース 小論文や長文読解など編入試験対策を行い、1年次には大学進学時には必要不可欠なパソコン技能を学ぶ。</li> <li>・英国人と米国人による英会話の授業を学年別・コース別で週4時間以上行う。</li> <li>・シラバスは各授業の担当教員が中心になり、関連科目の教員と協議した</li> </ul>

前年度の学習成果を踏まえて作成する。また、年間の授業計画は複数の教員により討議し、教務部長が3月末までに仕上げる。
成績評価の基準・方法
(概要) <ul style="list-style-type: none"> <li>・成績評定はA・B・C・D・Eの5段階で行う。</li> <li>・評定について <ul style="list-style-type: none"> <li>A：85点以上</li> <li>B：70～84点</li> <li>C：60～69点</li> <li>D：59～50点</li> <li>E：50点未満(不可)</li> </ul> </li> <li>※必須科目は追試験を受験し、単位取得をしなければならない。</li> <li>・規定の授業時数に出席していること。</li> </ul>
卒業・進級の認定基準
(概要) <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業および進級に必要な単位数の取得と学費等に未納がないこと。</li> </ul>
学修支援等
(概要) <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別相談・保護者あるいは三者面談</li> </ul>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
10人 (100.0%)	4人 (40.0%)	4人 (40.0%)	2人 (20.0%)
(主な就職、業界等)			
就職先	とさでん交通株式会社 空港グランドスタッフ 株式会社 高知パシフィックホテル 高知パシフィックホテル 香美市役所 株式会社はりま家 四国銘館 空と海		
進学先	高知県立大学 大手前大学 放送大学 日本大学		
(就職指導内容)			
就職試験対策（面接練習・筆記試験・卒業生の聞き取り調査を参考にした課題） 履歴書作成指導、一般常識			
(主な学修成果（資格・検定等））			
TOEIC	最高 850点（1年生）		
実用英語検定	準1級（2年生：1名、1年生：1名）		

	2 級 (2年生: 6名、1年生: 5名)
	準2級 (2年生: 3名、1年生: 2名)
	3 級 (1年生: 1名)
Word検定	1 級 (2年生: 1名)
	2 級 (2年生: 4名)
	3 級 (1年生: 10名)
Excel検定	1 級 (2年生: 4名)
	2 級 (2年生: 2名)
	3 級 (1年生: 9名)
(備考) (任意記載事項)	

中途退学の現状		
2021年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
21人	2人	9.5%
(中途退学の主な理由) 一身上の都合と体調不良による。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 毎日全員の出席状況をチェックし、無断欠席者には保護者に連絡し、欠席理由を把握する。保護者面談も年2・3回行い、学生・保護者・学校の連携を密にする。 また、日頃から学生への声掛けを行う。		

## ②学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
国際学科	150,000円	860,000円	132,000円	1年生 教材費・実習料
国際学科	円	860,000円	106,000円	2年生 教材費・実習料
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

### b) 学校評価

自己評価結果の公表方法
-------------

学校に電話またはメールで申し出。		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
学校関係者として、関連企業役員・従業員、有識者、卒業生および卒業生保護者などがそれぞれの知見を活かし、教育目標、学校運営、教育活動等について評価を行う。 この評価を当年度および次年度からの学校運営・教育活動に活かしていく。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
有限会社 日米学院	令和4年4月1日～ 令和8年3月31日	関連企業社員
自営業	令和4年4月1日～ 令和8年3月31日	高知語学&ビジネス専門学校 卒業生保護者
学校関係者評価結果の公表方法		
学校に電話またはメールで申し出。		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

学校に電話またはメールで申し出。
------------------



(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	高知語学&ビジネス専門学校
設置者名	学校法人 日米学院

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		0人	0人	0人
内 訳	第Ⅰ区分	0人	0人	
	第Ⅱ区分	0人	0人	
	第Ⅲ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				0人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間が標準時間数の5割以下)	人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)
------

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	0人	0人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	0人	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。